

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由			
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	・拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止					
1 ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成	社会的自立に向けたキャリア形成の支援	1 小学校特色ある学校づくり事業	各学校で、地域教材を活用し、地域に住む人々あるいは自然や歴史的な遺産等に触れる体験を通して、自尊感情や郷土愛の向上を図る。	知・徳・体の調和を生かしながら、児童に「生きる力」を培うことを目的として、それぞれの学校で特色ある実践事業を展開する。 広く社会で活躍されている地域の専門家、大学教授や一般企業の方などを学校に招聘し、専門的な授業や講演を通じて、児童に夢をいだかせる。 講師招聘数 生野小:37人 系井小:18人 大蔵小:35人 枚田小:22人 東河小:5人 竹田小:13人 梁瀬小:35人 中川小:7人 山口小:17人	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	豊かな自然、伝統文化、地元の々々の暖かなふれあいを通して、ふるさと朝来の良さを感じてもらふ事業として非常に有効だった。 今後も各学校等のニーズを把握して、継続して事業を実施していく。		
					2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	市内や各小学校が位置する地域の伝統文化及び地域との交流を通じ、教員を含め、ふるさと朝来を認識するとともに、その活動を通して各小学校の特色を形作る事業として効果が大きく継続して実施することが必要である。		
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。		
		2 中学校特色ある学校づくり事業			知・徳・体の調和を生かしながら、児童・生徒に「生きる力」を培うことを目的として、それぞれの学校で特色ある実践事業を展開する。 広く社会で活躍されている地域の専門家、大学教授や一般企業の方などを学校に招聘し、専門的な授業や講演を通じて、生徒に夢をいだかせる。 講師招聘数 生野中:3人 和田山中:1人 梁瀬中:4人 朝来中:4人	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	豊かな自然や伝統文化、地元の人々との温かなふれあいを通して、ふるさと朝来の良さを感じてもらふ事業として非常に有効だった。 今後も各学校等のニーズを把握して、継続して事業を実施していく。
						2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	市内や各中学校が位置する地域の伝統文化及び地域との交流を通じ、教員を含め、ふるさと朝来を認識するとともに、その活動を通して各中学校の特色を形作る事業として効果が大きく継続して実施することが必要である。
						最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。	
	兵庫型「体験教育の推進」	3 わくわくオーケストラ教室事業	芸術文化に親しむ機会の少ない中学生に、学校教育の中で本格的な楽団の演奏に親しむ機会を設け、音楽を愛好する心を育み、豊かな情操や感性を身に付けた人材の育成を図ることとする。	各中学校1年生が兵庫県立芸術文化センターで開催された兵庫県主催の青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」に参加し、生のオーケストラを体験した。  実績 朝来中学校 9月29日 57名 生野中学校 9月29日 28名 和田山中学校 9月30日 137名 梁瀬中学校 10月4日 69名		1次評価	2	2	3	2	2	3	2	継続実施	「豊かな情操や感性を身に付けた人材の育成」を図ることを基本方針としており、多様な体験の場を提供することは「優しく強い心の醸成」に寄与することから、今後も本事業を継続していく。 また、他市町と同様に参加者から負担金を徴収することで、事業の継続を図る。		
						2次評価	2	2	3	2	2	3	2	継続実施	オーケストラの演奏を聴く機会も少ない環境にある生徒に対し、その機会を提供することは、教養を高めることに大いに寄与している。		
						最終評価	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	事業内容について検討(地元開催等)を行うこと		
	グローバル化に対応した教育の推進	4 英語指導助手設置事業			グローバル社会に生きる児童生徒に国際感覚を身につけさせる。また、外国語に触れ、異文化を理解させることにより豊かな人間性をはぐくみ、国際理解教育の基盤となる外国語によるコミュニケーション力を身につけることを寄与する。	市内の小・中学校に英語指導助手を派遣し、英語の授業補助を行った。 8人のALTで、一人あたり平均週約20コマの授業を担当した。 全中学校にALTを常勤させることで、授業外でもALTと会話をしたり、様々な活動をしたりが可能になり、より密度の濃い英語教育の展開できている。 また、4つの小学校を拠点校とし、近隣小学校、幼稚園、こども園にもALTを派遣することで、幼少期から外国語に触れ、異文化を知るきっかけを与えている。 英語強化地域拠点事業においても、非常に重要な役割を担っている。	1次評価	2	2	2	2	2	3	2	継続実施	昨今のグローバル社会の中で英語は必要不可欠なため、幼少期より英語に触れる機会を増やすことは、非常に大切である。 ALTと授業等での会話や、様々な活動により密度の濃い英語教育を展開できている。小学校や幼稚園、こども園でも幼少期から外国語に触れ、異文化を知るきっかけを与えていて、保護者からも好評を得ている。 今後も現状の人数と時数を維持しながら、幼・小の連携を強化し、平成32年度から小学校でも外国語(英語)が正規の授業に取り入れられるため、今後においても必要な事業である。	
							2次評価	2	2	2	2	2	3	2	継続実施	今後全国的に、英語教育開始の用消化が進められる中で、市において、幼児期より積極的に英語に触れあえる機会を提供することは、英語習得につながる効果は大きい。	
							最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。	

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 継続実施 改善見直し 抜本的見直し 休止 廃止		
英語教育強化支援事業	5	朝来市連合国際交流協会と連携し、市内中学校の生徒に生の英語に触れる機会を提供するとともに、異文化交流による国際理解を推進し、生徒の英語能力の向上とグローバル社会に対応する人材の育成を図る。	<p>■市内中学生のアメリカ派遣事業として市内中学生から応募を募り、アメリカオレゴン州に派遣した。</p> <p>【派遣期間】 平成28年8月1日～8月7日</p> <p>【派遣人数】 市内中学生32名 引率8名</p> <p>【派遣先】 アメリカ オレゴン州 &lt;ニューバーグ市・ポートランド市&gt;</p> <p>【内容】 ①英会話実地研修 ②市内学生 &lt;シャヘイラムハレー校・マウントテーバー校&gt;との交流 ③ホームステイ ④ホストファミリーとの異文化体験</p> <p>・各校にて派遣された生徒による報告会を開催し、これにより他の生徒にも成果を還元する。 また、全体報告会として、交流協会、学校、保護者等に対して成果を報告した。</p>	1次評価	2	2	3	2	3	2	2	継続実施	中学校生徒に生の英語に触れる機会と、異文化交流による国際理解を推進、生徒の英語能力の向上とグローバル社会に対応する人材の育成を図れており、保護者からも好評を得ている。今後においても必要な事業であり、継続実施が望まれる。	
				2次評価	2	2	3	2	3	3	2	継続実施	中学校生徒に生の英語に触れる機会の提供と、異文化交流による国際理解教育の推進、生徒の英語能力の向上とグローバル社会に対応する人材の育成を図る上で当該事業の効果には大きなものがある。	
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。
「確かな学力」の育成	6	今日的な教育課題に適切に対応できる教職員を育成するため、キャリア教育推進体制や実践力を向上させる教育研修会を開催する等、朝来市教育研修所事業として様々な研修機会の設定する。	<p>教員の資質を向上させるため研修の機会を設ける。 朝来市教育研修所を設置し、市内の教職員全員がそれぞれの課題や担当に応じて研修に努める。</p> <p>キャリア教育推進のポイントについて、「文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 長田氏」講演会を開催した。市内幼・小・中学校教職員約220名が参加した。</p>	1次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	今日的な教育課題に適切に対応できる教職員を育成するためには、教職員の資質向上や技術習得が絶対必要であり、それを実践するにはこの研修事業が必要不可欠である。ただ、内容においては時流を見定めて、随時必要とされているものを取り入れて見直ししていく必要がある。また、教職員からは知識や経験等交換できる貴重な場としてニーズがあるため、これまで以上に効果的な研修事業を実施していく。	
				2次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	教職員の資質向上や技術習得のため、本研修事業は内容の充実を図りながら今後も継続して実施していく必要がある。	
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。
「豊かな心」の育成	7	朝来市の小学生が一室に会し、日頃の音楽活動を発表しあうことにより、相互の感性を磨き、生涯を通して音楽を愛好する心豊かな児童の育成を目指す。また、地域ならではの内容で発表を行うことにより、ふるさとを愛する「あさごっ子」を育成する。	<p>・音楽祭開催のための学校担当者との打合せ会を実施した。 ・打合せ会での決定内容に基づき、各種準備物の用意、児童輸送のためのバス手配等を行った。 ・和田山ジュビターホールにて小学校9校及び和田山特別支援学校の児童参加のもと音楽祭を開催した。</p>	1次評価	2	2	2	2	2	3	2	継続実施	児童が日頃の音楽活動を発表しあうことにより、相互の感性を磨き、生涯を通して音楽を愛好する心豊かな児童の育成を目指しており、保護者からも好評を得ている、今後も必要な事業として計っていく必要がある。	
				2次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	市内の小中学校を対象とした事業であり、児童に限らず保護者を含め相互の交流を図る機会の提供であり、実施する効果は大きい。	
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。
子ども子育て支援計画策定事業	8	子ども子育て支援3法(子ども・子育て支援法、認定こども園法一部改正法、整備法)が平成24年8月22日に公布され、すべての子どもの良質な成長環境の保障及び子ども・子育てを家庭を社会全体で支援するための新制度が平成27年度からスタートしている。新制度をさらに計画的に推	<p>平成28年12月2日に開催した。 委員は平成27年度から2年任期であるが、子どもの保護者(2名)、住民代表(1名)について新たに委員(3名)を選任した。 委員15人中、9人出席。 【会議の概要】 (1)子ども・子育て支援新制度の概要</p>	1次評価	2	3	3	2	2	2	2	継続実施	・この事業は継続実施する。 ・国レベルで実施されているものなので、実施の必要性が高い。 ・計画の評価点検は毎年実施し、計画的な子育て支援を実施する。 ・朝来市内の子ども・子育て支援に関する施策の総合的な推進のため会議に諮り、計画のPDCAを推進する。	
				2次評価	2	3	3	2	2	2	2	継続実施	当該計画は、平成24年に制定された「子ども・子育て関連3法」により市町村に策定が義務付けられたものであり、今後においても当該計画の評価点検を行い、子育て支援の充実を図る必要がある。	

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止		
			進するため新たに策定した「朝来市子ども・子育て支援事業計画」により、今後5年間「質の高い学校教育・保育の一体的な提供」、「保育の量的拡充」、「家庭における養育支援の充実」等、必要な確保方策を推進する。計画の進行管理と、必要に応じ計画・確保方策の見直しすることにより、朝来市における子育て支援を充実する。	(2)朝来市子ども子育て支援事業計画の概要及び変更 (3)特定教育・保育施設の利用状況について (4)児童クラブ(学童クラブ)の利用状況について (5)病児・病後児保育事業について	最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。
		9 管外保育所委託事業	・保護者の勤務地が市外にあるなどの理由で、朝来市外の保育施設の利用を希望された場合、当該市町村と広域入所に係る協議を行い、保育ニーズに対応できるよう調整を行う。	・保護者の勤務地が市外にある等の理由により、市外にある保育園等へ広域入所を希望された保護者及び乳幼児に対し支給認定申請及び入所申込を朝来市で行った。 ・希望する広域入所保育園等がある市町村と協議をし、保育施設が利用できるよう調整した。(委託協議) ・委託先が公立施設については、当該市町村が定める公定価格に基づき、給付費を支払した(年度末に支払)。 ・委託先が私立施設については、国が定める公定価格単価表に基づき、地域区分・入所人員・年齢等に応じて、特定教育・保育に要する費用を算定し、保育所には「委託費」、認定こども園には「給付費」として、支払った。(当月分を、毎月25日を旨に支払) ・公定価格単価から国基準保育料を差し引いた額の1/2が国庫負担金、1/4が県費負担金(子どものための教育・保育給付費)として補てんされ、残り1/4については市の負担。【委託先が私立施設の場合のみ】	1次評価	2	2	1	2	3	2	2	継続実施	・市外の保育施設の利用を希望される保護者の保育ニーズに応えるため、今後も継続してこの事業を実施する。 ・市外の勤務先(病院・学校・その他)に勤務されている保護者で近隣の保育施設の利用を希望される者は毎年10名前後いるため。 ・他市町村とも十分調整を行い事業を実施する必要がある。
					2次評価	2	2	1	2	3	2	2	継続実施	保護者の保育ニーズに応えるため、今後も継続して実施していく必要がある。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由		
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止				
2 「生きる力」を育む教育の推進	幼児期の教育の充実	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活が可能な障害児の受け入れを円滑に推進し、当該障害児の福祉の増進を図る。</li> <li>・障害児を受け入れている私立保育園に対し保育士人件費相当分の補助金を支出し私立保育園の運営を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活が可能な障害児の受け入れをし、かつ加配保育士を配置した私立保育園3園に対し補助金を交付した。</li> <li>1 障害児保育の対象児童は特別児童扶養手当受給者とした。</li> <li>2 障害児加配保育士一人当たり月額100,000円の補助した。</li> <li>3 対象施設(障害児数=加配保育士数)ひまわり保育園(1人)、枚田みのり保育園(1人)、やなせ保育園(2人)、照福保育園(3人:1人は7か月分) ※朝来市保育所等運営補助金交付要綱に基づく</li> </ul>	1次評価	2	3	3	2	2	2	2	2	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児を受け入れている保育園に対し、引き続き保育士加配(人件費相当分)は続ける。</li> <li>・発達障害等の乳幼児が増えてきており、保護者のニーズもあることから今後も保育園に対する支援は必要。</li> </ul>	
		2次評価	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害等の乳幼児が増えてきており、保護者のニーズもあることから今後も保育園に対する支援は必要である。</li> </ul>		
		最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次評価のとおりとする。</li> <li>発達障害支援センターの設置に係り、教育委員会、福祉部局等との連携を強化し、事業を行うこと。</li> </ul>	
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間保育所の安定経営と保育対策等促進事業に積極的に取り組む民間保育所に対して、保育内容・保育環境の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内民間保育園6施設に補助。</li> <li>1 事務費補助分として、定員数×1,000円×運営月数</li> <li>2 事業費加算分として、朝来市民間保育所運営補助金交付要綱の別表に掲げる対象事業のうち、実施事業数×年額100,000円別表の対象事業</li> <li>・保育所地域活動事業:6園(枚田みのり、ひまわり、やなせ、あわが、照福こども園、めばえのにわ)</li> <li>・延長保育促進事業:6園(枚田みのり、ひまわり、やなせ、あわが、照福こども園、めばえのにわ)</li> <li>・一時預り事業:5園(枚田みのり、あわが、やなせ、照福こども園、めばえのにわ)</li> <li>・地域子育て支援拠点事業:2園(枚田みのり、照福こども園)</li> <li>・障害児保育事業:4園(ひまわり、枚田みのり保育園、やなせ、照福こども園)</li> <li>・地域保育センター運営事業:2園(あわが、やなせ)</li> <li>・病児・病後児保育事業:1園(枚田みのり)</li> <li>・利用者支援事業:2園(枚田みのり、照福こども園)</li> <li>・放課後児童健全育成事業1園(照福こども園)</li> <li>3 看護師を配置した場合、看護師配置加算分として、月額65,000円×配置月数 ただし、病児・病後児保育事業を実施の場合は除く。(枚田みのり保育園)</li> <li>・あわが保育園改修補助金 1 次年度から5歳児を受け入れるために、保育室及びトイレを改修</li> </ul>	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間保育所の安定経営と子育て支援充実のため取り組む。</li> <li>・通常の保育以外に保育特別事業に積極的に取り組む民間保育所に対して支援を継続的に実施する。</li> <li>・利用者のニーズに応えると同時に保育内容・保育環境の充実を図るため今後も実施する。</li> </ul>
		2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間保育所、子ども園の安定経営と子育て支援充実のため及び、利用者のニーズに応えるとともに保育内容・保育環境の充実を図るため今後も実施する必要がある。</li> </ul>	
		最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次評価のとおりとする。</li> </ul>

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止		
		12 私立保育所・こども園地域保育センター運営支援事業	・梁瀬幼稚園の降園後、家庭で保護者等の保育を受けることができない園児を民間保育所で受け入れ、子育て支援を充実する。	<p>・幼稚園の降園後、家庭で保護者等の保育を受けることができない園児を受け入れている民間保育所に対して、園児の受け入れ体制を整えている民間保育園に補助をした。</p> <p>【実施民間保育所】 市内民間保育園(2園)(やなせ・あわが保育園)</p> <p>【補助内容】 年間の延べ利用児童数が25人以上の保育所に対し、年間延べ利用児童数により補助。 ※1日当たり4時間未満の利用児童については、2人で1人と算出する。</p> <p>(延べ利用児数) (4時間未満) (4時間以上) やなせ保育園 1,380人 502人 あわが保育園 142人 69人</p>	1次評価	3	2	2	3	3	3	2	廃止	梁瀬幼稚園は平成28年度末で廃園したため、次年度以降は実施しない。
					2次評価	3	2	2	2	3	3	2	廃止	梁瀬幼稚園は平成28年度末で廃園したため、次年度以降は実施しない。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	廃止	二次評価のとおりとする。
		13 こども園学びのサポーター配置事業	・こども園の障害児及び発達障害児等について介助員を配置し、障害児等の発育を促す。	<p>・学びのサポーターが必要なこども園等に対し嘱託職員(介助員)、パート職員を配置した。</p>	1次評価	2	3	3	2	2	2	2	継続実施	<p>・入園児の増に伴い、発達障害等のある乳幼児の入園が増加傾向にあるため、通常保育のみでの対応が困難になってきている。今度も学びのサポーター配置は継続する。</p> <p>・発達障害児の一人ひとりに対し介助員を配置することで、きめ細かな保育が出来るようになった。</p> <p>・同一の介助員による配置は対象児にとっても保護者にとっても安心感につながるため、引き続き介助員の配置をする。</p>
					2次評価	2	3	3	2	2	2	2	継続実施	<p>・市立こども園において、発達障害等のある乳幼児の入園が増加傾向にあるため、通常保育のみでの対応が困難になっている。今度も学びのサポーター配置を継続する必要がある。</p>
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。
		14 幼保一元化施設整備事業	<p>・幼児(幼稚園児)を保育し、適正な環境を与えることにより、その心身の発達を助長する幼児教育を推進する。</p>	<p>就学前の乳幼児を対象に、幼稚園・保育所という施設で分け隔てすることなく、施設を一元化し運営する「認定こども園」によって、一貫した教育保育を行うことができ、スムーズな小学校への就学を迎えられるようにすることを目的に、幼保一元化施設の整備を実施する。</p>	1次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	認定こども園化に向けた施設整備支援は教育・保育の一貫の実施によりスムーズに小学校就学へ繋ぐことができ、引き続き市として支援を推進する必要がある。
					2次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	認定こども園化に向けた施設整備支援は教育・保育の一貫の実施によりスムーズに小学校就学へ繋ぐことができ、引き続き市として支援を推進する必要がある。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由				
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 継続実施 改善見直し 抜本的見直し 休止 廃止						
		15 幼稚園学びのサポーター配置事業	・幼稚園の障害児及び発達障害児等について介助員を配置し、障害児等の発育を促す。	・介助員が必要な幼稚園対し、嘱託職員(介助員)、パート職員を配置した。	1次評価	2	3	3	2	2	2	2	2	継続実施	・就学前教育の一環として発達障害児への教育に寄与している。 ・地域内の私立保育園が認定こども園化を計画されており、平成28年度で梁瀬幼稚園が廃園した。また平成29年度末には和田山幼稚園を廃園する予定であるが、平成29年度中は引き続き介助が必要な幼児が入園した際には介助員を配置する。 ・市立幼稚園において、会場の必要な児の入園があった場合には、通常保育のみでの対応が困難である。該当する児の入園があった場合には、今度も学びのサポーター配置をする必要がある。 二次評価のとおりとする。			
					2次評価	2	3	3	2	2	2	2	2	2		継続実施		
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	継続実施	
		16 小学校学びのサポーター配置事業	情緒が不安定及び肢体不自由のため介助を要する児童や、同様な児童が在籍していることにより正常な教育活動ができないと認められる学級を対象に、安全確保、学習環境の向上や教育活動の円滑な推進を図るため、就学指導委員会で協議し、学びのサポーターを配置する。	学びのサポーターの配置等 平成28年度配置人数…18人 実施内容 ・通常学級や特別支援学級において、支援が必要な児童に対し、学級担任等と連携し、学習活動が円滑に進むようサポートを行う。 ・集団生活に入りにくい児童に対して、情緒の安定を図り学校生活が円滑に送れるよう支援を行う。 ・学びのサポーター研修を実施し、児童への支援の方法や実態把握について専門性を高める研修を行っている。	1次評価	3	3	3	3	3	2	2	2	拡充	情緒が不安定及び肢体不自由のため介護を要する児童や、正常な教育活動ができないと認められる学級を対象に、安全確保、学習環境の向上や教育活動の円滑な推進を図るため、教育支援委員会で協議し、学びのサポーターを配置する。 対象児童が等年々増加傾向にあるが、学びのサポーターは増員できていないのが現状である。 支援を必要とする児童に対し、安全確保、学習環境の向上や教育活動の円滑な推進を図るため、今後も継続して学びのサポーターを配置する必要がある。 二次評価のとおりとする。			
					2次評価	3	2	3	2	3	2	2	2	2		2	拡充	
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	拡充
特別支援教育の充実		17 中学校学びのサポーター配置事業	情緒が不安定及び肢体不自由のため介助を要する生徒や、同様な生徒が在籍していることにより正常な教育活動ができないと認められる学級を対象に、安全確保、学習環境の向上や教育活動の円滑な推進を図るため、就学指導委員会で協議し、学びのサポーターを配置する。	学びのサポーターの配置等 平成28年度配置人数…6人 ・通常学級や特別支援学級において、支援が必要な生徒に対し、教科担任等と連携し、学習活動が円滑に進むようサポートを行う。 ・装具を着用している生徒やアレルギー対応の生徒の身体の安全確保のため、休み時間や給食時の支援を行う。 ・集団生活に入りにくい生徒に対して、担任との連携をとりながら、情緒の安定を図り学校生活が円滑に送れるよう支援を行う。 ・学びのサポーターは、毎月業務報告を提出し、支援の内容をまとめ報告を行う。 ・年間2回、特別支援教育に係る学校訪問を行い、サポートをしている授業の様子を参観したり、サポーターとの面談を通じて勤務の様子を把握している。 ・学びのサポーター研修を実施し、児童生徒への支援の方法や実態把握について専門性を高める研修を行っている。	1次評価	3	3	3	3	3	2	2	2	拡充	情緒が不安定及び肢体不自由のため介助を要する生徒や、正常な教育活動ができないと認められる学級を対象に、安全確保、学習環境の向上や教育活動の円滑な推進を図るため、教育支援委員会で協議し、学びのサポーターを配置する。 対象生徒が等年々増加傾向にあるが、学びのサポーターは増員できていないのが現状である。 支援を必要とする生徒に対し、安全確保、学習環境の向上や教育活動の円滑な推進を図るため、今後も継続して学びのサポーターを配置する必要がある。 二次評価のとおりとする。			
					2次評価	3	2	3	2	3	2	2	2	2		2	2	拡充
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止		
3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	18 コミュニティ・スクール推進事業	子どもたちは地域の宝であるとの認識のもと、子どもに関わる全ての地域住民が一体となって子どもたちを育む一つの形として、コミュニティスクール「学校運営協議会制度」を活用し、学校、保護者そして地域住民がともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくことを目指す。	【実施校】 朝来市立竹田小学校  【実施内容】 ・定期的に学校運営協議会を開催した。協議会において、学校運営基本方針の承認、教育活動についての意見交換を行った。 ・学校だよりとは別に活動誌スクラムを発行し、学校での活動を地域に発信した。	1次評価	2	2	1	2	2	1	2	継続実施	今後、地域に定着している竹田式のコミュニティ・スクールについて検証し、他校への拡大可能性について検討していく。
		2次評価	2	2	2	2	2	1	2	継続実施	学校運営についての市民の目線を取り入れ、運営改善に取り組むことの効果は大きい。			
		最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。		
	小学校整備事業	19	市内小学校の施設改修行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市内小学校の改修希望箇所調査</li> <li>■市内小学校の改修箇所の査定、査定結果に基づき工事を発注                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防球ネット設置工事(生野小)</li> <li>・転落防止柵設置工事(大蔵小)</li> <li>・築山撤去工事(大蔵小)</li> <li>・庭園・植栽整備工事(糸井小)</li> <li>・高圧機器取替工事(生野小)</li> <li>・プール改修工事(東河小)</li> <li>・その他工事</li> </ul> </li> </ul>	1次評価	3	3	3	2	2	3	3	拡充	市内小学校の施設の改修必要箇所を的確に把握し、緊急性を考慮して優先順位をつけ、計画的に修繕を行うことで、安全・安心で質の高い教育環境の整備を図る。 今後も上記内容を維持しながら、市が主体となって継続実施していく。
		2次評価	2	3	3	2	2	3	2	継続実施	児童生徒が安全で安心して学べる環境整備については、今後も継続して計画的に取り組む必要がある。			
		最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。		
	中学校整備事業	20	市内中学校の施設改修行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市内中学校の改修希望箇所調査</li> <li>■市内中学校の改修箇所の査定、査定結果に基づき工事を発注                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテンレール設置工事(朝来中)</li> <li>・網戸設置工事(生野中)</li> <li>・放送室スピーカー取付工事(和田山中)</li> <li>・量水器設置工事(和田山中)</li> </ul> </li> </ul>	1次評価	3	3	3	2	2	3	3	拡充	市内中学校の施設の改修必要箇所を的確に把握し、緊急性を考慮して優先順位をつけ、計画的に修繕を行うことで安全・安心で質の高い教育環境の整備を図る。 今後も上記内容を維持しながら、市が主体となって継続実施していく。
		2次評価	2	3	3	2	2	3	2	継続実施	児童生徒が安全で安心して学べる環境整備については、今後も継続して計画的に取り組む必要がある。			
		最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。		
	中川小学校大規模改造事業	21	学校施設の計画的な改善により、安全・安心な教育環境を確保する。学校施設は子どもたちが学習や生活の場として一日の大半を過ごすため、老朽化した施設の大規模改造改修工事を行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	中川小学校の校舎は昭和60年度建設後、31年が経過し老朽化が著しい。学校施設は子どもたちが学習や生活の場として一日の大半を過ごす場所である。その安全性の確保は極めて重要であるため、老朽化した施設の大規模改造改修工事を行い、安全・安心な教育環境を確保する。  朝来市立中川小学校校舎大規模改造工事 ・工事請負費 376,920,000円 ・工期 平成28年12月2日～平成29年10月31日 ・校舎面積 2,618㎡	1次評価	3	3	3	2	3	2	3	継続実施	平成27年度は実施設計、平成28年度から工事を始めることができた。
		2次評価	3	3	3	2	3	3	2	継続実施	児童生徒が安全で安心して学べる環境整備については、今後も継続して計画的に取り組む必要がある。			
		最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。		

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	・拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止		
		22 系井小学校大規模改造事業(繰越分)	学校施設の計画的な改善により、安全・安心な教育環境を確保する。 学校施設は子どもたちが学習や生活の場として一日の大半を過ごすため、老朽化した施設の大規模改造改造工事を行い、教育環境の充実を図る。	系井小学校の校舎は、昭和48年8月に建築し、一部は昭和58年1月に増築され30年から40年が経過した建物であり、平成9年には地震補強工事を実施しているが、内部は著しく老朽化しているため、大規模改造工事を実施した。  朝来市立系井小学校校舎大規模改造工事 ・工事請負費 392,040,000円 ・工期 平成27年12月2日～平成28年10月31日 ・校舎面積 2,993㎡  <参考>大規模改造工事1式 ・昭和48年8月建築 1,764㎡ ・昭和58年1月建築 848㎡ ・平成2年7月建築 381㎡ 合計 2,993㎡	1次評価	3	3	3	2	2	1	2	廃止	事業完了により廃止。
					2次評価	3	3	3	2	3	3	2	廃止	児童生徒が安全で安心して学べる環境整備については、今後も継続して計画的に取り組む必要があるが、系井小学校校舎大規模改造事業については完了により事業廃止。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施
		23 給食センター整備事業	約20年経過する給食配送車1台を更新する。	約20年経過する給食配送車1台を更新する。	1次評価	3	3	3	2	3	3	2	継続実施	将来的な財政負担や衛生管理の観点から市内4施設を統合し、より安全で安心な給食を提供するため、最新の施設整備の導入が行われた。今後は施設の保守管理を継続して実施し、施設の長寿命と安定した給食の提供に努める必要がある。
					2次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	施設整備事業は今後においても必要に応じ継続して実施していくべきものとする。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施
	家庭の教育力の向上	24 両親教育インストラクター事業	乳児、乳幼児や保護者同士が交流できる場所を提供し、子育て相談、情報の提供、助言を行い、子育ての不安などを解消しながら、家庭、地域の子育て力の向上と子供の健やかな成長を図っていく。	市内4ヶ所に子育て学習センターを開設し、両親教育インストラクターを配置して子育て支援事業を実施 ・子育て相談 ・子育てグループの育成・活動支援 ・子育て講演会、交流会、季節行事の実施	1次評価	3	3	3	2	1	1	2	拡充	市として子育てを推進する上で、拡充すべきと考える。課題として、人材の育成、確保が急務であると感じる。またそれに伴い、研修・学習の拡充が必要である。子育てに悩む保護者へ、この事業を知っていただくための広報方法についても工夫していかなければならない。より多くの保護者が安心して子育てできるように、相談、情報共有する場として積極的には発信する必要がある。
					2次評価	2	3	3	2	1	1	2	改善見直し	子育て支援事業として必要な事業と考える。より多くの方が参加いただく工夫、事業内容の工夫などの改善見直しを実施することが先決と考える。その結果により、参加者数の増加、時間延長の要望が出てきた時点で拡充の方向も検討すべきであるとする。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し
		25 社会教育総務一般管理事業	社会教育委員会を設置し、社会教育に関する計画の立案や調査研究を行うことによって、社会教育に関する助言を教育委員会に対して行う。 青少年問題協議会を開催し、各種団体の意見交換・相互連携を図っていく。	・青少年問題協議会の開催(15名、年1回) ・社会教育委員会の開催(14名、年4回) ・青い鳥学級の開設(学級生13名、ボランティア13名、年4回) ・公用車の維持管理(2台、うち車検1台)	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	◆継続実施とする。 青少年問題協議会については、各種団体の情報交換や連携を密にし、未然防止対策や健全育成に取り組んでいる。 社会教育委員については、答申審議だけでなく、活動の活発化や社会教育行政への積極的な関わり方の研究会を開催し、社会教育への提言を継続的に行っている。



# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 継続実施 改善見直し 抜本的見直し 休止 廃止		
生涯を通じた学びの機会・場の充実			青い鳥学級を開催し、視覚障害者の生涯学習の機会の提供や社会参加の促進を行う。 社会教育課所管の公用車の適切な維持管理を行う。		2次評価	2	2	3	3	2	3	2	継続実施	青少年問題協議会・社会教育委員会は、生涯学習の過程の中でも需要であり、次代を担う世代の問題でもあるが、市全体のこととして取り組んでいかなければならない事業である。時代の変化に伴い、今後も重要課題として継続して取り組む必要がある。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施
		26 生涯学習推進員設置事業	各区に1名の生涯学習推進員を配置し、地域における自主的な生涯学習活動を促進し、学習成果を活かした活力ある地域づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進員設置人数 159名</li> <li>各地区における、防犯パトロールの実施</li> <li>生涯学習推進員全体会(研修会)の開催(年1回)</li> <li>ランチ体操の普及(講習会及び巡回みんなのラジオ体操会の開催)</li> <li>生涯学習講演会の開催(年1回)</li> <li>生涯学習推進員活動広報発行(年1回)</li> </ul>	1次評価	1	3	2	2	1	1	2	抜本的見直し	社会教育課としては地区活動の把握、また改善要求ができず、ここ数年の課題となっているが、地区における人口や委員選任方法の違いから統一または差別化を図ることは非常に困難である。現担当の見解としては、実情を知り、他事業も含めて情報共有を行っている地区事務局が協働し、全体事業を行う方向性での検討が必要である。
					2次評価	2	3	3	3	2	2	2	改善見直し	生涯学習の推進のための活動を実施している。次代を担う世代の問題でもあるが、市全体のこととして取り組んでいかなければならない事業でもある。時代の変化に伴い、今後も重要課題として継続して取り組む必要がある。生涯学習推進委員としての個々の活動等、自主的な活動が幅広くできるような改善が必要と思われる。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し
		27 人権教育推進事業	同和事業を重要な柱とした人権教育を図るため、地域・学校・家庭・行政連携して学級を開設する。 学級生には、差別を見抜く負けない意識を考えさせ、たくましく生きる力を養い、自分の故郷の誇りを持ち、地域の方とともにここ豊かな社会づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生を対象とした、あすなろ学級・希望学級の開設</li> </ul>	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	現在は、地域・学校・教育委員会が連携し、継続して同和学習がしやすい体制となっている。その体制のもと、児童・生徒への学習は絶え間なく必要で、それにより強い心を持ち適切に行動できるようになると考える。そのため継続すべきである。
					2次評価	2	2	3	3	2	2	2	継続実施	基本的人権の事業であり、適切な学習指導を実施することが必要であり、今後も継続して実施すべきである。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	継続実施
		28 成人式開催事業	新成人の門出を祝う式典に際し、若者が自ら企画運営する成人のつどいを開催することにより、成人教育の一環として社会参加への自覚を高め、「ふるさと朝来市」を再認識する機会を作っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新成人実行委員による、第2部成人のつどいの企画・運営</li> </ul>	1次評価	2	1	1	1	1	1	3	廃止	現在見直し中であるが、成人式の記念と盛り上げを行うため実施してきた成人式のつどいについては、新成人となる者が実行委員会を立ち上げられず、開催できない場合は廃止すべきと考える。
					2次評価	2	2	3	2	2	1	2	抜本的見直し	成人式の中の「成人のつどい」ではあるが、市全体として新成人を祝う事業として継続が必要。ただし、市で一歩成人式を実施すべきで、成人式全体を見直す必要があると思われる。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	改善的見直し	成人式の実施意義は理解できるが、2部の「集い」についてはあり方を考えるべきである。特に、実行委員会設置などの開催の仕方の検討が必要である。

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由			
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止					
		29 朝来市少年少女オーケストラ事業	<p>・活動を通して、クラシック音楽に触れる機会を提供することで、子どもたちの好奇心や夢を育み、青少年の健全育成を図る。</p> <p>・小中学生団員と高校生団員、大学生や社会人との先輩後輩間の指導体制による世代を超えた相互人材育成システムの構築を図る。</p> <p>・市外在住の元団員の市内へのUターンにより地域の活性化を図る。</p> <p>・市民にとって身近な音楽文化としてのクラシック音楽の普及振興を図る。</p> <p>・市内を中心とした但馬全域でのオーケストラ事業の展開を目指す。</p>	<p>青少年の人材育成の場として活動を行う。定期練習では先輩の団員がリーダーとなって後輩の指導を行い、それを指導員(教職員)が補助するという形態をとっている。また、月に2回程度、ライツ室内管弦楽団から質の高い指導を直接受けることで、団員の演奏技術の向上を図っている。</p> <p>定期練習: 火曜日(18:30~20:00)、土曜日(15:00~17:00)</p> <p>強化練習: 夏季合宿(8月5日・6日)、春季強化練習(3月26日・27日)</p> <p>演奏活動</p> <p>・朝来医療センター開院式典(4月24日)</p> <p>・糸井こども園公演(8月9日)</p> <p>・兵庫県交響学祭(10月4日)</p> <p>・定期演奏会(11月12日)</p> <p>・入団式、春のコンサート(3月26日)</p> <p>・成人式オープニング演奏(1月8日)</p>	1次評価	2	2	2	3	2	2	2	継続実施	<p>・現状の事業を継続的に実施する。</p> <p>・全国的にも特徴的な市独自の青少年育成事業として市内外から高い評価を受けている。今後も演奏の場を増やしていくことで、市内に音楽文化の更なる振興及び醸成を図りたい。</p>			
					2次評価	2	2	3	3	2	2	2	継続実施		<p>市独自の特徴のある事業であり、全国的にも珍しい事業である。青少年の育成事業としても価値があり、年々レベルアップもしている。今後の発展を期待するものであるが、指導者等の確保についても、継続して実施していく必要がある。</p>		
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/			継続実施	二次評価のとおりとする。
		30 図書館運営管理事業			<p>快適で利用しやすい図書館環境を維持するとともに、図書館資料を適切に整備する。知識の提供を中心としたサービスを行う。</p>	<p>◎資料の収集、貸出、返却、レファレンスサービス、おはなし会、読書案内、各種行事</p> <p>平成28年度</p> <p>○蔵書冊数 213,972冊 ○資料の貸出 170,251冊 ○利用者数 37,491人 ○来館者数 104,161人</p> <p>○予約件数 7,614冊 ○登録者数 18,659人 ○会館日数 289日</p> <p>○館内おはなし会 221回(1,200人) ○館外おはなし会 163回(6,193人)</p> <p>○行事 星空観望会(8月)、としよかんまつり(10月)</p> <p>○工作会、イベントおはなし会、読書週間おはなし会 ○ブックリスト発行 3回</p> <p>○ブックスタート 217名</p> <p>○図書館システムの更新</p>	1次評価	2	3	2	3	1	3	1	改善見直し	<p>方針:レファレンスサービス(調査相談)の利用推進。</p> <p>理由:小説や物語を借りるだけではなく、日常生活や仕事などに活用してもらえる資料の利用を広めたい。個人はもちろん、近年利用が増えている団体貸出や、市民が新しい活動を始める際の一助にもなればと考える。</p> <p>方法:館内にレファレンスサービスの事例を貼り出すなどして、気軽に相談してもらえる環境を整える。おはなし会などの多くの子どもに直接触れ合える際に、図書館の利用方法や本を紹介する機会を持つ。また、利用者アンケートを行い、市民ニーズを定期的に把握することに努める。</p>	
							2次評価	2	2	2	3	2	3	1	改善見直し		<p>図書館は、市民生活の中で資料収集・知識の向上・学習の場として、定着している。多様化する時代の中で、より一層市民が利用しやすい図書館として、様々なサービスの向上が必要となってくる。市民のニーズを的確に把握し、利用形態等の見直しも必要となる。</p>
							最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/		

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 継続実施 改善見直し 抜本的見直し 休止 廃止		
郷土の歴史文化遺産の保存・活用・継承	31 文化財保護調査・啓発事業	歴史文化遺産は、地域の歴史と先人たちの営みや思いを現在に伝え、住民の誇りや愛着心を高めるものである。市内の貴重な史跡、建造物、近代化遺産、天然記念物、民俗芸能など様々な歴史文化遺産を把握、調査研究を行い、その価値付けと適切な保護を実施するとともに、指定・登録を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の開催(6月、3月に開催。新たに市指定文化財として「進藤家住宅」を決定した。</li> <li>・文化財保護に関する協議会を通じたの研修、保護活動の推進</li> <li>・文化財保護に関する事務</li> <li>・重要文化財赤淵神社本殿の防災保守点検事業に対する補助(補助金16千円)</li> </ul> </li> <li>○神戸大学地域連携事業(委託料600千円)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に所在する古文書の調査研究及び整理を神戸大学との共同研究により整理、調査を行った。</li> <li>・奥銀谷地域で確認された古文書について、神戸大学の指導を受けながら地域住民らとともに整理、調査を行った。</li> <li>・研究成果として、3月に展示会と講演会を行った。</li> </ul> </li> <li>○市指定文化財説明看板設置・修理事業(44千円)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県指定天然記念物八代の大ケヤキ、枚田城跡の説明看板、旧木村酒造場国登録看板を新たに作成した。</li> <li>・赤松広秀公供養塔案内板および家康尊像と歴代将軍の位牌の説明看板を修繕した。</li> </ul> </li> <li>○過去の特筆すべき事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「史跡竹田城跡」製本(印刷費:693千円)</li> <li>・平成26年度「生野鉱山及び鉱山町の文化的景観」構成要素の建築学及び住居学調査委託(1,600千円)</li> </ul> </li> </ul>	1次評価	2	3	3	2	3	3	2	継続実施	◆継続実施 ◇文化庁の方針として、「歴史文化遺産を活用して観光振興や地域振興を目指す」ことが明瞭に示されている。朝来市も、竹田城跡や生野鉱山などの歴史文化遺産を観光振興に活かして行くため、適切な保護活動、調査啓発事業が必要である。とくに、古文書調査などは、地域の生活文化を解き明かし、地域住民にとって文化財との距離感を埋めやすい資料であるため、今後も積極的に調査を実施すべきと考える。	
				2次評価	2	2	3	3	3	3	2	継続実施	地域に残された歴史文化遺産は、地域の歴史と先人の営みにより継承された大切なものであり、地域の誇りと愛着心を醸成するとともに、観光振興や地域振興にも寄与するものであり、継続して実施すべきものとする。	
				最終評価										継続実施
	32 文化財保存活用事業	朝来市は、古代から中世、近現代にかけて幅広く貴重な文化遺産が多く存在している。また天然記念物も豊富に生息する環境である。それらを適切に保存し、住民の誇りの醸成と地域活性化に寄与する活用方法を検討、実施することで、市内外に向けて朝来市歴史文化遺産の価値を	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保存整備計画策定事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生野鉱山及び鉱山町の文化的景観整備計画を策定した(3,576千円)</li> <li>・国の重要文化的景観に選定された生野地域の景観整備計画策定した。生き続ける文化財として、</li> <li>・地域住民の生活と鉱山町の景観を継承するため、10年後の町の将来像と整備の方針を</li> </ul> </li> </ul>	1次評価	2	3	3	2	3	2	2	継続実施	◇継続実施すべきである。 ◆日本遺産認定により、地域の歴史文化遺産を地域振興に結び付けることで、市民の誇り、郷土愛の醸成し、観光振興によって広域的な経済の発展を目指す。文化財が地域創生の切り札であると自覚し、積極的な保護を図っていく。 また、オオサンショウウオの生息数が日本有数であることも、自然が豊かである朝来市の魅力の一つであることも、自然が豊かである朝来市の魅力の一つであるとともに、今後も適切な保護調査、情報発信を積極的に実施する。	

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由				
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	・拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止						
4 すべての市民が学ぶ生涯学習社会の形成			拡げていく。	<p>と定めた。</p> <p>○天然記念物の保護業務 ・国特別天然記念物オオサンショウウオの円山川流域での生息調査を実施した(委託料529千円)。 ・県指定天然記念物「延応寺の大ケヤキ」の修繕工事を実施した(工事主体:延応寺補助金1,908千円)。</p>	2次評価	2	2	3	2	3	2	2	継続実施	それぞれの地域に存する歴史文化遺産等を活用したまちづくりについては、今後においても地域住民とともに取り組みを進めるべきであると考えている。				
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	継続実施とするが、文化的景観整備計画(生野)に則り、文化財の浸透を促進すること。				
	33	文化財保存活用事業(旧竹田城課所管)	歴史文化遺産である竹田城跡を後世に引き継ぐための計画を策定し、環境の整備を実施する。また、朝来市を代表する史跡である竹田城跡に関する学習や周知活動を行うことで、市民が歴史文化遺産の価値を再認識し、ふるさとに対する誇りや愛着心を高める。	<p>■【04】竹田城跡2016ヘリテージ講座 竹田城跡のスペシャリストを養成するため、市民参加型のヘリテージ講座を開催</p> <p>■【04】竹田城跡親子見学会 地域の誇る史跡への認知を高め、郷土への誇りを育むため、市内の小中学生とその保護者を対象とした見学会を実施</p> <p>■【04】竹田城跡環境美化委託業務 竹田城跡内の草刈り等の雑草清掃</p> <p>■【04】竹田城跡樹木等管理業務 樹木等の適正な管理を委託</p> <p>■【04】安全管理業務委託 測量により石垣の現状を把握し、危険性等を把握するための基礎資料等の作成を実施</p> <p>■【05】竹田城跡大手道及び北千畳保護工事(国庫補助事業) 大手道及び北千畳周辺の遺構保護工事と見学通路の整備を実施</p> <p>■【05】竹田城跡保存整備計画策定事業(国庫補助事業) 竹田城跡の保存整備に関する計画を策定(平成28・29年度の2か年を予定) ※【 】の中の数字は細々目の番号</p>	1次評価	2	2	3	3	2	1	2	継続実施	歴史文化遺産である竹田城跡を後世に引き継ぐための取り組みは、継続して行なわれるべきものである。市民が歴史文化遺産の価値を再認識し、ふるさとに対する誇りや愛着心を高めるためには、現在のような取り組みを継続することで着実に人材を育てることが必要である。また、今後は日本遺産などの取り組みなどと連携し、積極的に文化財を活用し、地域の魅力を発信していくことが必要であると考えている。				
					2次評価	2	2	3	3	2	2	2	継続実施	本市が全国に誇る歴史文化遺産である竹田城跡については、今後においても適切な保存管理に努めるとともに、観光振興や地域振興に活用すべきものと考えている。				
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	継続実施	二次評価のとおりとする。				
					34	社会教育団体支援事業	青少年団体・文化協会等への活動補助を行い、青少年の健全育成や市民の自主的な生涯学習活動を促進する。	社会教育団体(青少年スポーツ・文化活動団体 27団体、文化協会 1団体、子ども会連絡協議会 1団体)への活動補助金の交付。	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	市内青少年スポーツ団体の強化が進んでいる。財政的に厳しい状況ではあるが、同水準を維持すべきであると考えている。
									2次評価	2	2	3	2	2	2	2	継続実施	社会教育団体に補助している事業であり、各種団体の育成及び良好な運営に寄与するものである。現状維持のためにも継続実施が望ましい。
									最終評価	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	活動の見直し及び様々な社会教育団体の活動の促進を検討すること。

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								評価	評価理由
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 ・継続実施 ・改善見直し ・抜本的見直し ・休止 ・廃止		
スポーツの 振興	保健体育一般管理事業	35 朝来市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21朝来市推進委員会を核として、市民が気軽にスポーツに親しめるための環境づくりを推進する。	朝来市スポーツ推進委員(19名)の開催(年2回) 朝来市スポーツ推進委員(27名)の活動 ・スポーツクラブ21朝来市推進委員会(13名の開催(年1回)) ・幼児期の運動能力の向上とスポーツを通じた親子ふれあい運動遊びの開催(年2回) ・体力測定会(年2回)の開催 ・ジュニアスポーツ講演会の開催	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	スポーツ推進委員は法に基づく委員であり、継続した取り組みが必要である。スポーツクラブは13クラブある組織の方向性を検討していく必要がある。朝来市スポーツ推進委員会は、スポーツ基本法による審議を求められ、年1回以上は開催する必要がある。
				2次評価	2	2	2	3	2	2	2	2	改善見直し	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会については、法に基づく設置であり、市のスポーツ振興・健康増進に寄与している。スポーツクラブ21は、組織的なことを含め、運営・事業等について、見直しが必要と思われる。
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し
	体育協会等支援事業	36 スポーツ団体等への活動補助を行い、スポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくり、競技力の向上を図る	朝来市体育協会・朝来市陸上競技協会への活動補助金の交付	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	競技スポーツをリードする団体として活発な活動が期待される。若い年齢層の発掘や新しい競技スポーツの浸透などを求めたい。
				2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	各種スポーツ各種団体を育成・支援することにより、市民のスポーツ振興・健康増進の観点からも、必要な事業であり、今後も継続して実施することが望ましい。
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	実施事業の内容見直しを行うこと。
	社会体育事業(全市)	37 市民が気軽にスポーツに参加し、スポーツを通じた交流が出来るように各種スポーツ大会、教室を実施する。	・市長杯バレーボール大会 ・ソフトボール決勝大会 ・壮年女子ソフトボール大会 ・軟式野球大会 ・ソフトボール交流大会 ・スポレク大会 ・スキー・スノーボード教室(H28は積雪量不足のため中止) ・子どもを対象としたスポーツ教室の開催(H28は陸上)	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	改善見直し	団体スポーツの開催では、年々参加者が減少傾向にあり、新たなスポーツや志向に合わせた内容に変化を持たせることも良いと考える。
				2次評価	2	2	2	3	2	2	2	2	改善見直し	市民のスポーツ振興・健康増進に必要な事業であるが、時代の変化により、市民ニーズを的確に把握し、その時代に合った事業を展開する必要があり、見直しが必要と思われる。また、各種スポーツ団体に事業実施を委ねる等、事業推進の工夫も必要と思われる。
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し
	体育施設整備事業	38 市民のスポーツ振興と健康増進、心身ともに心豊かな生活を営むスポーツ施設の適正な管理、利用者が安心して利用できる施設の整備に努める。	・和田山体育センター天井等落下防止対策工事 ・筒江農村広場バックネット修繕工事 ・エスポワ北側法面地滑り修繕工事 ・奥銀谷体育館縦樋・横樋修繕工事 ・和田山体育センターバレー床金具改修工事 ・西土田東屋修繕工事 ・農業者トレーニングセンター解体工事 ・旧与布土小学校縦帳点検動力電源工事 ・スポーツ公園PRサイン張替 ・農業者トレーニングセンター災害時避難所看板移設 ・和田山屋内ゲートボール場周辺環境整備工事	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	体育館など建築から30年余りを経過する施設が増え、老朽化が顕著となる中、優先度をつけた計画的な修繕、改修が必要となっている。
				2次評価	2	3	2	3	2	2	2	2	継続実施	各種施設とも老朽化が進んできている中、市民のスポーツの推進・健康増進に寄与するために、継続実施が必要である。また、スポーツ施設ではあるものの、避難所としての位置づけもあり、市民の安全確保のため、緊急性の高いものから、計画的に継続実施する必要がある。
				最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し

# 平成28年度朝来市教育委員会事務事業評価書

第2期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	評価項目								市民ニーズの把握	評価	評価理由	
基本方針	基本的方向				事業の緊急性	事業の必要性	事業主体の妥当性	サービス対象の広がり	事業内容の適切さ	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握	拡充 継続実施 改善見直し 抜本的見直し 休止 廃止				
		39 社会体育事業 (和田山)	ソフトボール大会予選会の実施により、ソフトボールを通して市民が心身を健全に保ち、明るく豊かな生活を推進すると共に地域社会の交流を深める。	朝来市ソフトボール大会和田山地区予選大会を開催し、12チームが参加した。	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	市決勝大会の予選会という位置づけであり今後も継続していくが、地域の交流を図ることも目的であり、また、各公民館での参加チーム数に差があり予選会という位置づけに無理が生じている。参加チームの固定化も見られるようになってきているため、できるだけ多くの和田山地域の住民の交流が図られるようなスポーツの実施も検討していくことが必要である。	
					2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	地域のスポーツ振興・健康増進に係る事業であり、身近な市民の交流の場としても継続実施していくことが必要であり、地域自治協議会等の連携も必要である。また、次代の変化が必要と思われる。	
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	二次評価のとおりとする。
		40 社会体育事業 (生野)	(1)市民(生野地区)の健康増進を図るとともに、住民との一体的事業により若者から高齢者まで幅広い参加を促し交流を推進する。 (2)各区対抗スポーツ大会をスポーツ推進員、各区体育委員とともに開催し、地域・世代間等の交流と健康増進を図る。	以下のスポーツ活動を実施する。 (1)生野地区グラウンド・ゴルフ大会(5.28) (2)生野地区ソフトボール大会(5.22) (3)生野地区女子バレーボール大会(7.5) (4)生野地区卓球大会(11.27)	1次評価	2	2	2	2	1	2	2	2	継続実施	・現状の事業を継続して実施する。 ・生野地域は高齢化率が高く、健康増進のため・娯楽施設が少ない・交通機関が充実していない・交流の場の減少ということを補填する意義からも社会体育事業を継続していく必要がある。 しかし、支所職員が減少し、かつ町内店舗(事業所)に従事する町民も減り、地域の次世代を若手で担っていくしくみが構築しにくい。自治協議会員の意識の醸成も含めて、地域と生涯学習センターで事業推進すべきである。	
					2次評価	2	2	2	3	2	2	2	2	改善見直し	市民のスポーツ振興・健康増進に必要な事業であるが、時代の変化により、市民ニーズを的確に把握し、その時代に合った事業を展開する必要があり、見直しが必要と思われる。 また、各種スポーツ団体に事業実施を委ねる等、事業推進の工夫も必要と思われる。	
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	二次評価のとおりとし、内容の検討を行うこと。
		41 社会体育事業 (山東)	市民が気軽にスポーツに参加し、スポーツを通じた交流ができるように各種スポーツ大会、教室を実施する。	山東地区におけるスポーツ大会の開催 ・ソフトボール大会(朝来市民ソフトボール山東地区予選:5月) ・元旦マラソン大会(1月)	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	スポーツを通して地区内の住民が親交を深めることや健康増進が目的であり、一定の効果は期待できる。 しかし、交流、健康増進の方法については近年多様化し、また、少子高齢化の影響もあって、参加者の減少は今後も続くと考えられる。しばらくの間は継続が望ましいが、状況を鑑みて改善見直しを行っていく必要があると考える。	
					2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	地域のスポーツ振興・健康増進に係る事業であり、身近な市民の交流の場としても継続実施していくことが必要であり、地域協議会等との連携も必要であると思われる。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	内容の検討を行うこと。
		42 社会体育事業 (朝来)	市民(朝来地区)の健康増進を目的としたスポーツ活動の促進	朝来地域において市民の健康増進・コミュニケーションの場としてスポーツ大会を実施する。 ・朝来地区ソフトボール大会(5月開催) ・朝来バレーボール大会(春季) ・朝来バレーボール大会(秋期)	1次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	各大会については、市の全体大会への予選会及び他市町・地域との交流の場としての意味合いもあり、今後も継続。	
					2次評価	2	2	2	2	2	2	2	2	2	継続実施	地域のスポーツ振興・健康増進に係る事業であり、身近な市民の交流の場としても継続実施していくことが必要であり、地域自治協議会等との連携も必要である。 また、時代の変化により、事業内容も今後検討していく必要があると思われる。
					最終評価	/	/	/	/	/	/	/	/	/	改善見直し	内容の検討を行うこと。